

地球温暖化対策における国際機関等連携事業

平成30年度予算額 5.5億円（5.0億円）

産業技術環境対策室 地球環境対策室
03-3501-7830
産業技術環境局 地球環境連携室
03-3501-1757
産業技術環境局 エネルギー・環境イノベーション戦略室
03-3501-9221

事業の内容

事業目的・概要

- 気候変動に関する国際交渉や、我が国の低炭素技術・製品の国際展開を有利に進めていく上で、様々な国際機関等と適切に連携し、温暖化問題に対する我が国の取組や姿勢を効果的にアピールしていくことが重要です。

(1) 地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業

地球温暖化対策技術による日本や他国の温室効果ガス排出削減目標等について分析と総合評価を行い、科学的裏付けをもって、国際研究機関等との連携を取りながら国際交渉における議論・取組を先導します。特に、パリ協定の発効を受け、全世界の合計削減目標と気温上昇を1.5℃に抑える目標等との整合性や、その中の日本のあるべき貢献について、モデル分析等を通して、明らかにしていきます。

(2) CCS国際連携事業

二酸化炭素回収・貯留技術（CCS；Carbon Dioxide Capture & Storage）は、CO2を大幅に削減できる技術として、今後の実用化が国際的に期待されています。本事業では、CCSの国際動向を把握すると共に、CCS国際基準の策定に積極的に関与することで、我が国の環境技術を生かした経済成長と国際貢献を目指します。

(3) クリーンエネルギー分野の革新技術開発に係る国際連携事業

クリーンエネルギー分野の革新技術開発に関する国際枠組（ミッション・イノベーション）において、国際連携を促進すべき革新技術分野の検討・評価を行い、国際貢献のあり方を検討し、我が国としても関連する活動に協力します。

成果目標

- 平成29年度から平成33年度までの5年間の事業であり、温暖化対策の技術分析の国際的な議論の先導として国際的なモデル評価プロジェクト等への15回程度の引用を目指すとともに、CCSの国際規格に係るガイドラインの発行（30年度目標は累積発行件数8件）、さらにクリーンエネルギー分野の革新技術開発に関する国際枠組（ミッション・イノベーション）関連の国際会議への参加（年4回以上）を通じて世界に貢献することを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

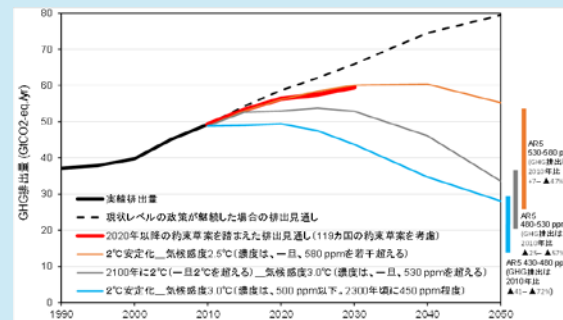
国

委託

民間調査機関等

事業イメージ

(1) 地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業



各国の削減目標と気温上昇を2℃に抑える目標の関係
【出典】RITE

(2) CCS国際連携事業



(3) クリーンエネルギー分野の革新技術開発に係る国際連携事業

- ミッション・イノベーションにおける具体的な活動例

①イノベーションチャレンジ

- 共通の技術開発目標を掲げ、ミッション・イノベーション参加国有志が協力しつつ、情報共有の場の構築や技術開発の推進等に取り組んでいきます。

②表彰制度

- 地球温暖化問題の解決に資する革新的な技術・アイデアを表彰する制度を立ち上げます。